

団体名	特定非営利活動法人NPOかなびの丘	<div></div>	<div></div>
事業名	金銭管理サービス適正化に係る調査研究事業		
実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月11日		
助成(実績)額	3,169,192円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>【目的】</p> <p>福祉施設等で提供される「金銭管理サービス」が適正に実施されるために必要な体制や仕組みの標準化、また一定のスキルを有した人材に育成をも目指し、まずはサービス提供の実態を把握するとともに、そのことを通じて、同サービスの基本となる「権利擁護」向上への啓発を図っていくことを目的とした。</p> <p>I. 実行委員会の設置</p> <p>・事業を円滑に進めていくために実行委員会を設置する</p> <p>II. 調査事業</p> <p>①アンケート調査の実施</p> <p>・自治体向け：大阪府内全自治体を対象に、現状の取り組みや今後の方針等についてアンケート調査を実施する</p> <p>・施設向け：大阪府内にある施設、グループホームを種別や地域に配慮した上で 1,000 件を抽出し、金銭管理サービスの実態を把握する</p> <p>②ヒアリング調査の実施</p> <p>・先進地ヒアリング：大阪府内外の先進的な取り組みを行っている団体を対象にヒアリング調査を実施する（3団体程度）</p> <p>・取組みヒアリング：・大阪府内において金銭管理サービスを提供している施設を対象にヒアリング調査を実施する（3 団体程度）</p>	<p>I. 実行委員会の設置</p> <p>本事業を円滑かつ効果的に進めるため、専門的な知見や現場での実績をもつ方々に委員を依頼し実行委員会を設置した。</p> <p>メンバーは学識経験者、専門家（弁護士、ファイナンシャルプランナー）、施設関係者（高齢者、障がい者、グループホーム）、社会福祉協議会（大阪府、堺市）、金銭管理サービス提供者で構成し、行政（大阪府、和泉市）にもオブザーバーとして参加いただいた。</p> <p>5回開催した実行委員会では、アンケート調査の調査項目やアウトプットの方法、ヒアリング調査の調査団体の選定のほか、報告会の進め方など事業全般にわたって討議を行った。</p> <p>II. 調査事業</p> <p>①アンケート調査の実施</p> <p>金銭管理サービスの提供実態を明らかにするため、施設・グループホームおよび行政を対象としたアンケート調査を実施した。</p> <p>施設・グループホーム向けでは府内 1,000 施設を対象とし、郵送配布・郵送/WEB 回答で実施した。行政向けでは府内全市町村の高齢福祉担当および障がい福祉担当の 132 部署を対象とし、郵送配布・郵送/WEB 回答で実施した。回答率はそれぞれ 19.2%、14.4%であった。</p> <p>②ヒアリング調査の実施</p> <p>■先進地ヒアリングの実施</p> <p>金銭管理サービスの提供を社会福祉協議会以外で行っている団体にヒアリング調査を行った。本調査では金銭管理サービスの提供に焦点を当てたため、第二種福祉事業として提供している団体を対象とした。</p> <p>・特定非営利活動法人そよ風ネットいわき（福島県いわき市）</p> <p>・特定非営利活動法人 PAS ネット（兵庫県西宮市）</p> <p>・特定非営利活動法人NPOかなびの丘（大阪府堺市, 当法人）</p>	<p>I. 多様な意見やアイデアを集約</p> <p>今回、多様な人材に協力いただいたことで高齢者向け施設と障がい者向け施設では制度が異なるほか、利用者家族との関係性も大きく異なることが共有できた。しかし、金銭管理の方法については類似した方法を採用しており、施設の利用者特性に応じて細部に工夫が行われている実態も併せて共有することができた。これらより、施設の特徴に応じてカスタマイズできる仕組みを内包した金銭管理サービスのあり方を模索することを確認することができた。</p> <p>II. 金銭管理サービスの全体像を把握</p> <p>①施設での金銭管理サービスの実態【アンケート調査】</p> <p>6 割以上の施設・グループホームにおいて金銭管理サービスを提供していること、9割を超える施設・グループホームで小口現金の保管を行っていること等が明らかになった。また、高齢者向け施設と障がい者向け施設では金銭管理サービスに対する意識が異なることも把握することができた。</p> <p>②具体の金銭管理サービスを把握【ヒアリング調査】</p> <p>アンケート調査では読み取れない具体のサービス内容についてヒアリング調査を行った。今回は先進的に金銭管理サービスを提供している団体および府内で金銭管理サービスを提供している施設を対象とした。</p> <p>先進事例のヒアリング調査では、様式のあり方、契約の行い方等を確認し、抱える課題や今後の活動方針等を共有できた。</p> <p>取組事例のヒアリング調査では、具体的な利用者との関わり方、職員の業務分担や負荷当について確認することができた。実際の施設を見学し、利用者とも顔を合わせることで現場の工夫や職員の苦労を目の当たりにすることができた。</p>

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
<p>Ⅲ. 啓発事業</p> <p>①報告会の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・報告書の作成:調査事業で得られた結果を報告書にまとめる・報告書の配布:アンケート調査対象団体に報告書(概要版)の配布を行い、金銭管理サービスの啓発を行う・報告会の開催:調査事業及び提言の報告会を開催する <p>②イベントへの出展</p> <ul style="list-style-type: none">・府民に金銭管理サービスを啓発するために各種イベントに出展して啓発活動を行う	<p>■取組みヒアリングの実施</p> <p>大阪府内で金銭管理サービスを提供している施設にヒアリング調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・障害者支援施設希望の園(大阪市淀川区)・ケアハウス和風荘(堺市美原区)・特別養護老人ホームかなびのさと(富田林市) <p>Ⅲ. 啓発事業</p> <p>①報告会の開催</p> <p>■報告書の配布</p> <p>アンケート調査に協力いただいた団体に報告書概要版を配布した。</p> <p>■報告会の開催</p> <p>令和6年3月11日(火)14:00~16:30</p> <p>堺市産業振興センター セミナー室3</p> <p>参加者 24 名</p> <p>②イベントへの出展</p> <p>現状では、金銭管理サービスの存在は府民に知られていない。少しでも多くの府民に認知していただくために、イベントに出展して啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・みどりのつどい2024 年 5 月 19 日(日), 西原公園(堺市南区)・和泉ボランティア・市民活動フェスタ 20242024 年 10 月 26 日(土), エコール・いずみ アムゼ広場(和泉市)・北区ボランティアフェスティバル2024 年 11 月 30 日(土), 新金岡市民センター(堺市北区)・まつばらボランティア市民活動フェスタ 20242024 年 12 月 16(月)~17 日(火), 松原市役所ロビー(松原市)・わくフェス(わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル)2025 年 2 月 2 日(日), 大阪狭山市公民館(大阪狭山市)・ひろとん(市民活動わくわく広場 in とんだばやし)2025 年 2 月 16 日(日), エコール・ロゼ(富田林市)	<p>Ⅲ. 知ること</p> <p>①報告会で共有</p> <p>今回の調査で金銭管理サービスの実態を明らかにできたが、現場(施設・グループホーム)に還元することが必要であると考えていた。概要版ではあるが、調査報告書をアンケート調査に協力いただいた施設・グループホームに配布した。数施設から通常版の報告書がほしい旨の問合せがあった。</p> <p>併せて報告会を開催し、関心のある施設関係者とアンケート調査やヒアリング調査の結果を共有することができた。また、権利擁護活動に造詣の深い福島健太弁護士に最新の動きや具体の取組みをご教授いただいた。</p> <div></div> <p>②すそ野を広げる必要性を実感</p> <p>上記の調査と並行して啓発活動に力を入れ、南大阪を中心に6会場で直接府民に啓発を行った。イベントに参加した方から「こんなサービスがあると知らなかった。何も知らずにお金を預けるのは怖いけど、事前に知れてよかった」との声をいただいたまた、。イベント参加者と対象としたアンケートでも施設・グループホームが金銭管理サービスを提供していることを知っているのは 4 割弱と低く、啓発の必要性を強く実感した。</p>